

A new easy-to-use power box from Furutech that brings out high-quality performance from your system

フルテック独自のノウハウを随所に投入
ハイクオリティな性能を引き出す

Audio commentator Mr. Saburo Ubukata for Analog Magazine Japan

特殊素材NCFを調合した優れた電材パーツを随所に採用した、贅沢かつ合理的で使いやすい作りの高CPな6口電源ボックスが誕生した。本機は、現代のさまざまな環境の下、回路的なフィルターをいわずにNCFによる静電効果や制振効果、EMC対策などで理想的な電源供給を実現。『オーディオアクセサリ銘機賞2024』でグランプリを受賞した、4口タイプの「GTO-D2 NCF(R)」の姉妹モデルになる。単に口数を増やしただけではなく、このモデルの音の魅力をアナログレコード再生で探ってみる。

Text by **生形三郎**
Saburo Ubukata
Photo by 田代法生



FURUTECH GTO-D3 NCF (R)

電源ボックス ¥194,810(税込)

Specifications

- 筐体：特製CNC加工特殊グレードアルミシャーシ+特殊フルオロポリマー製タンピングフォイル(RF防止) ●IECインレット：「FI-09 NCF(R)」(非磁性ロジウムメッキ、α純銅ロジウムメッキ導体、特殊な「NCF」共振減衰材料を使用したナイロン/ガラスファイバー) ●アウトレットコンセント：GTOシリーズ専用特殊NCFグレードコンセント(非磁性リン青銅素材ロジウムメッキブレード仕様)
- アウトレットカバー：「106-D Plus NCF」 ●内部配線：高純度μ-OFc Alpha-22 (3.8sq mm)導体+2層フッ素ポリマーとポリエチレン絶縁体 ●サイズ：約108.5W×77H×410D mm (スライク部除く) ●質量(ネット)：約3.1kg

Furutech GTO-D3 NCF(R) Power Distributor

(Listened in combination with Powerflux-C15 NCF-18)

The sound is robust and powerful, with a clear sense of depth that brings out the individual instruments in the orchestra with impressive clarity.

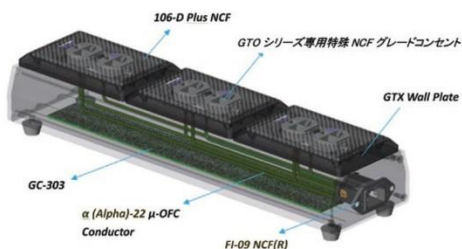
The music seems to rise from a backdrop of silence, greatly enhancing the transparency of the tones. Not only is the positioning of the instruments vividly portrayed, but even the subtle background noises, such as the performers' stance and breaths before playing, become clear, elevating the quality of analog playback.

With solo piano recordings, the noise floor drops, revealing even the faintest sound details. The mechanical noise of the sustain pedal being depressed and the damper moving gains a solid presence, enhancing the performer's presence and realism.

The sound gains thickness and solidity, with the robust attack of strong keystrokes remaining clear yet never harsh, providing a pleasing experience.

Overall, the increased silence adds clarity and a rich presence to the sound image, enhancing the density of the music reproduction.

Compared to the GTO-D2 NCF(R), the D3 exhibits more detailed expression and a heightened sense of energy, reflecting the improvements in inlet grade and chassis size.



マルチマテリアルハイブリッド構造の内部模式図。フルテックの電磁波吸収材GC-303を本体底部に設置し、外來ノイズを効果的に吸収。筐体にコンセントを固定するベース部は、アルミニウムCNC加工に非共振コーティングを施した。特別グレードの高性能GTX Wall Plateを採用。内部配線は、全てのコンセントに独立配線

Furutech Powerflux-C15 NCF-18 Power Cord

The overall sound becomes quieter and tighter, with a distinct core and contour emerging in the audio.

The mid-to-low range gains an appropriate thickness, drawing out a fruity sweetness and luster in the timbre of instruments.

Noise levels are reduced, enhancing the clarity of the sound image. The rise and sustain of soft sounds become vividly clear. For instance, piano performances exhibit a marked precision, with a slight roundness in tone, adding an elegant texture to the crisp sound.

In orchestral music, the sense of depth increases, and the stage's outline becomes clearer. The bowing of the string section gains a waxy sheen and stickiness, transforming into a smooth, dense sound.

コンセントシャーシ「GTX Wall Plate」やGTOシリーズ専用NCFグレードコンセント、そして、 α (アルファ) μ OFCC導体による内部配線等は共通しているもの、D2とD3を聴き比べてみると、明確な違いがあつて興味深い。

電源ケーブルには最高峰のスリムタイプを起用して聴く

今回、電源ボックスを試聴するにあつて、まずは昨年発売された同社のフラグシップ電源ケーブル「Powerflux C15 NCF-18」を改めて試聴した。プリアンプとアナログプレーヤー、そしてフォ

ノアンプに電源供給して、試験室常設の電源ボックスの電源ケーブルへと使用して、全体に静けさが増して、音に明確な輪郭が現れ、同時に、中低音に程よい厚みもたらされ、楽器の音色にフルーティな甘みや感を引き出される。ノイズ感も抑えられ、音像は鮮明さを増し、弱音の立ち上がりや持続する音韻脈がクリアに冴えるのが例えればピアノの演奏には、アルト(二音一音をハッキリ奏する、という楽語)さが現れる。同時に、音色がほのかに、味を帯びて、冴えた中に、優な質感が生まれる。同下、オケース

IECインレット部の比較。左は「GTO-D2 NCF(R)」で「FI-06 NCF(R)」を使用。右は「GTO-D3 NCF(R)」で、最高級オーディオグレードの「FI-09 NCF(R)」を使用している

増して、入れ替えた途端、体感音圧に全くなり、音の擦り感が、どっしりとしていて遅く、出度のあ、そして、奥行き方向に居並ぶオーケストラの楽器の数々も、くつきりと浮かび上がる視界の良きなだ。静寂の奥から音楽が立ち上がってくる印象で、音色の透明感も大きく向上している。楽器の配置描写はもろろんのこと、音が出る前の奏者の構えやプレスなどに起因しているであろう微かな暗騒音まで、くつきりと浮き上がり、アナログ再生のクオリティが確実に高まっていることを実感できる。

ソロ・ピアノ音源でも、ノイズフロアが下がって同じく微かな音情報までが掘り起こされ、サステインペダルを踏み込んでダンパーが動いた際、ゴクツとした動作音が確かな存在感を得て、演奏者の気配や実体感をより一層高めている。音の太さや盤石さが増して、強靱な打鍵のアタックも、クリアながらも決して鋭角的にならない点が実に快い。多数のソースを聴いてみたが、全般的に静けさが増して、音像に明解さとくつきやかな存在

感ももたらされ、音楽再生の濃度が高まる印象だ。

精彩さやエネルギー感でグレードの高まりを実感した

最後に、参考までに「GTO-D2 NCF(R)」と比較してみると、D3ではディテール表現の精彩さやエネルギー感が高まっており、冒頭に触れたように、見た目は似ていながらも、単にコンセントが増えただけではない、インレットのグレードアップや筐体サイズの拡大によるであろう音質グレードの違いを体感することができた。今回の接続では、プリアンプとプレーヤーとフォノEQで3口の電源が必要であったため、D3では各コンセントから1口ずつ供給できたのに対し、D2では一方のコンセントは同時に2口の電源を供給するという違いがあったものの、やはり、その接続性も含めて音のグレードの高さを実感した次第だ。

「GTO-D3 NCF(R)」は、音の静けさや明解さとともに、太く盤石な再現力を確保したいユーザーにうってつけの電源ボックスなのである。